

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
法人 A	臨時 3 名	千葉県木更津市	農業経営の法人化, 労務環境の整備	専門家派遣回数 2回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は、米、レタス、トウモロコシを生産して平成30年7月に法人化した。

経営規模を拡大したいが、従業員が定着せず規模拡大に踏み切れなかったことから相談。



■現状課題等

- 相談者は、葉物野菜が主力のため、手作業が多く規模拡大には雇用が不可欠だが、定着せず、その退職理由はわかっていない。
- 今後、従業員を定着させて安定的な雇用を確保し、経営規模を拡大させたい。
- ただ、闇雲に規模拡大を目指すのではなく、雇用が増加した場合の必要経費・売上高のシミュレーションを得て、経営に過度の負担をかけない経営を実現したい。

支援体勢・改善提案 (問題解決方法)

■支援内容

1 支援チームの編成

社会保険労務士、普及指導員 計3名

2 支援内容

(1) 社会保険労務士による従業員定着に向けた支援

- 従業員の採用に当たり意欲と協調性を重視し、適性を有しているか等、定着しやすい人材を見極めることを助言
- 労働基準法に基づき雇用予定者に対し雇用条件の丁寧な提示を行うよう助言
- 日々における農作業の進捗管理のために行う従業員による業務日誌の点検と適切な業務指示等の実践活動を提案
- 労務管理をはじめとする就業規則、給与体系等のあり方について助言

(2) シミュレーションと財務状態の評価

- 社会保険等の増加経費を積算し相談者に提示
- 損益分岐点分析による必要売上高の計算と財務状態の評価を行い、雇用するための余力があるか否かを判断

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

相談者は、自らの経営に常時雇用をできるだけ余力があるか不安であったが、経営規模を踏まえた労働力の分配等をシミュレーションした結果、相談者は安心して雇用労働力を活用した法人経営に取り組めるようになった。

今後、従業員募集に当たっては、農業専門の人材紹介会社も利用する等、幅広く募集を行うほか、アドバイスを参考に従業員の定着に向けた改善を図っていく予定。

■コーディネーター所感

規模拡大には雇用が不可欠だが、給与の支払能力が前提なので、雇用をする場合の経費や必要な売上高をシミュレーションした結果、相談者は、給与支払能力は十分に見込まれたことから、積極的な雇用を働きかけ。

また、雇用者定着に必要な人材の見極め方や書類整備、雇用者への配慮等についてアドバイスし、相談者への意識改善を図ることができた。

今後は、経営規模の拡大に向けた支援も併せて行なっていく予定。